

第 2 期計画の検証結果と第 3 期の量の見込みの算出

1. 「量の見込み」について

○「量の見込み」とは、子ども・子育て支援に関する事業（施設やサービスの利用）が、どのくらい必要とされているかを示す見込みの数値であり、事業の「需要量」を指します。

（1）基本的な算出の仕方

・令和 6 年 3 月に行ったニーズ調査の結果を基に、国の手引きを用いて算出します。

※ニーズ調査によらず、市が過去の利用実績や今後の利用を推計し、独自に算出する事業もあります。

$$\boxed{\text{子どもの推計人口}} \times \boxed{\text{家庭類型}} \times \boxed{\text{利用意向率}} = \boxed{\text{量の見込み}}$$

○家庭類型：現在の生活状況や今後の就労見込みから、次の類型に分類

A：ひとり親の家庭	D：専業主婦（夫）の家庭
B：フルタイム×フルタイムの家庭	E：パートタイム×パートタイムの家庭
C：フルタイム×パートタイムの家庭	F：無業×無業の家庭

○利用意向率：対象となる家庭類型において、事業ごとに利用を希望する割合を算出

（2）量の見込みの補正

・量の見込みは（1）で算定した量を基本とします。ただし、利用実績との間に大きな乖離が生じる事業は、その事業の特性などを勘案し、必要に応じて適正な数値の補正を行うことや、過去の実績値から将来の人口減少率を勘案して、量の見込みを算出しています。

2. 「確保方策」について

○「確保方策」とは、子ども・子育て支援に関する事業について、どれだけ提供するかを示す見込みの数値であり、事業の「供給量」を指します。

量の見込みに不足が生じないよう留意し、現在の提供体制を踏まえた適切な確保内容及び実施時期を設定します。

3. 「人口推計」について

児童人口の推計に当たっては、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を元に算出しました。

（将来の人口を、都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたもので、令和2年の国勢調査を基に、令和32年までの5年ごとについて、男女・5歳階級別に推計。これを元に令和7年から11年までの1年ごと、年齢の1歳ごと及び教育・保育提供区域別の人口について市が独自に推計。）

（単位：人）

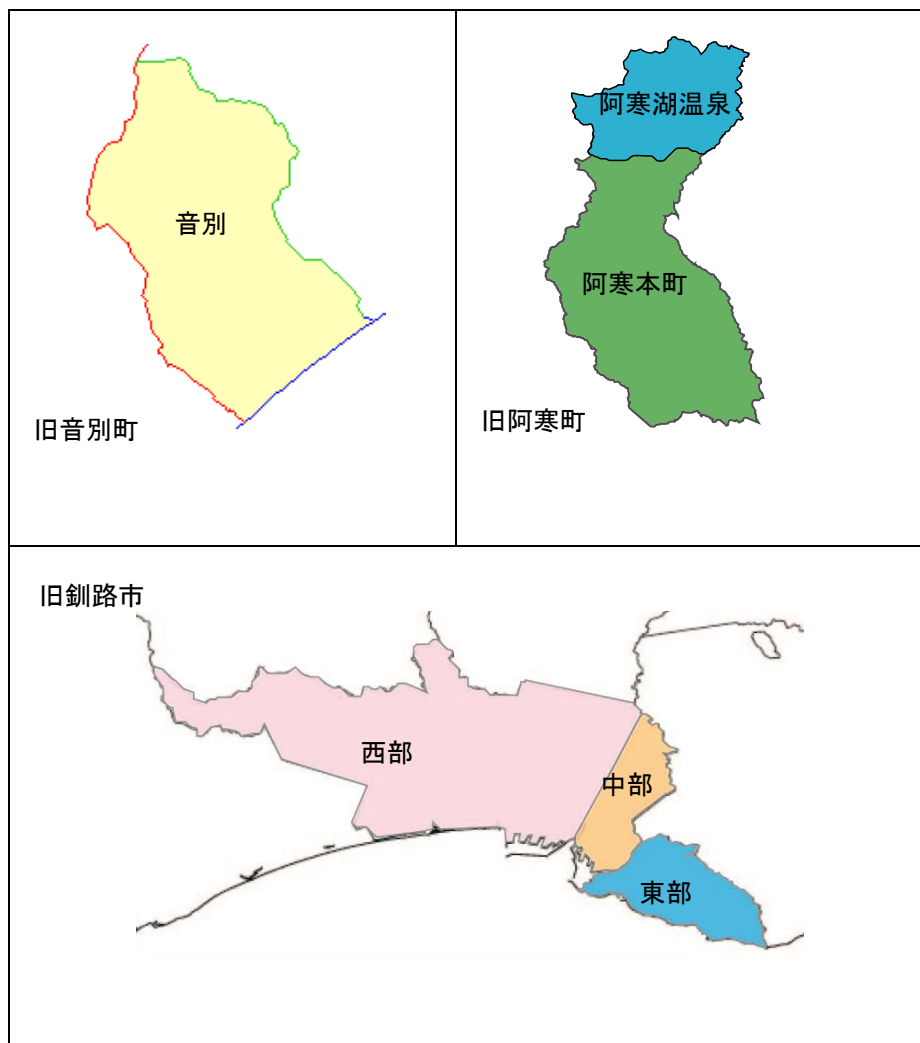
市全域	実績					推計				
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
0歳	849	820	731	664	633	594	582	571	560	550
1～2歳	1,885	1,826	1,677	1,566	1,405	1,318	1,293	1,268	1,244	1,220
3～5歳	3,174	2,971	2,862	2,665	2,582	2,414	2,336	2,261	2,190	2,121
6～8歳	3,422	3,286	3,230	3,109	2,856	2,654	2,509	2,370	2,239	2,116
9～11歳	3,747	3,670	3,544	3,376	3,230	3,060	2,915	2,777	2,645	2,520
12～14歳	4,031	3,946	3,815	3,651	3,578	3,420	3,271	3,128	2,992	2,861
15～17歳	4,223	4,089	4,033	4,015	3,897	3,915	3,778	3,646	3,518	3,395
合計	21,331	20,608	19,892	19,046	18,181	17,375	16,684	16,021	15,388	14,783

4. 教育・保育の提供区域について

「教育・保育提供区域」とは、市町村が地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育施設の整備の状況等を総合的に勘案して定める区域で、設定した区域ごとに「量の見込み」と「確保方策」を定めます。

本市では、教育・保育提供区域を「東部」「中部」「西部」「阿寒本町」「阿寒湖温泉」「音別」の6区域とします。

■ 本市における教育・保育提供区域



■ 教育・保育提供区域別の児童人口の推計

(単位：人)

地区	年	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	合計
東部地区	令和7年	190	204	218	244	244	285	252	293	305	324	326	329	358	372	366	387	439	427	5564
	令和8年	186	200	214	236	236	276	238	277	288	309	311	314	342	356	350	374	424	412	5343
	令和9年	183	197	210	228	229	267	225	262	272	294	296	299	327	340	335	361	409	398	5130
	令和10年	179	193	206	221	221	259	212	248	257	280	282	285	313	325	320	348	395	384	4928
	令和11年	176	189	202	214	214	251	201	234	243	267	269	271	299	311	306	336	381	370	4734
中部地区	令和7年	212	228	243	272	272	318	281	327	340	361	364	367	399	415	408	432	490	476	6204
	令和8年	208	223	238	263	263	308	265	309	321	344	347	350	381	397	390	417	473	459	5958
	令和9年	204	219	234	255	255	298	251	292	303	328	330	333	365	379	373	402	456	443	5721
	令和10年	200	215	229	247	247	289	237	276	287	312	315	318	349	363	357	388	440	428	5495
	令和11年	196	211	225	239	239	280	224	261	271	298	300	303	333	347	341	375	425	413	5279
西部地区	令和7年	171	183	195	219	219	256	226	263	273	291	293	296	321	334	328	347	394	383	4991
	令和8年	167	180	192	212	212	248	213	249	258	277	279	282	307	319	314	335	380	370	4792
	令和9年	164	176	188	205	205	240	202	235	244	264	266	268	293	305	300	324	367	357	4602
	令和10年	161	173	184	198	199	232	191	222	231	251	253	255	281	292	287	312	354	344	4420
	令和11年	158	170	181	192	192	225	180	210	218	239	241	243	268	279	274	301	342	332	4246
阿寒本町地区	令和7年	11	12	13	14	14	17	15	17	18	19	19	19	21	22	21	23	26	25	323
	令和8年	11	12	12	14	14	16	14	16	17	18	18	18	20	21	20	22	25	24	310
	令和9年	11	11	12	13	13	16	13	15	16	17	17	17	19	20	19	21	24	23	298
	令和10年	10	11	12	13	13	15	12	14	15	16	16	17	18	19	19	20	23	22	286
	令和11年	10	11	12	12	12	15	12	14	14	16	16	16	17	18	18	20	22	22	275
阿寒湖温泉地区	令和7年	4	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7	8	8	8	9	10	10	125
	令和8年	4	5	5	5	5	6	5	6	6	7	7	7	8	8	8	8	10	9	120
	令和9年	4	4	5	5	5	6	5	6	6	7	7	7	7	8	8	8	9	9	115
	令和10年	4	4	5	5	5	6	5	6	6	6	6	6	7	7	7	8	9	9	111
	令和11年	4	4	5	5	5	6	5	5	5	6	6	6	7	7	7	8	9	8	106
音別地区	令和7年	6	6	7	7	7	9	8	9	9	10	10	10	11	11	11	12	13	13	168
	令和8年	6	6	6	7	7	8	7	8	9	9	9	9	10	11	11	11	13	12	161
	令和9年	6	6	6	7	7	8	7	8	8	9	9	9	10	10	10	11	12	12	155
	令和10年	5	6	6	7	7	8	6	7	8	8	9	9	9	10	10	10	12	12	148
	令和11年	5	6	6	6	6	8	6	7	7	8	8	8	9	9	9	10	11	11	143
合計	令和7年	594	638	680	761	762	891	786	916	952	1,012	1,019	1,029	1,116	1,161	1,142	1,210	1,372	1,333	17,375
	令和8年	582	626	667	736	737	862	743	866	900	964	971	980	1,068	1,111	1,092	1,167	1,324	1,286	16,684
	令和9年	571	614	654	713	714	835	702	818	850	918	925	934	1,021	1,062	1,045	1,126	1,278	1,242	16,021
	令和10年	560	602	642	690	691	808	663	773	803	875	881	889	977	1,016	999	1,087	1,233	1,198	15,388
	令和11年	550	590	630	669	669	783	627	731	759	833	839	847	934	972	956	1,049	1,190	1,156	14,783

※各地区の人口比率をもとに按分して算出しているため、各歳及び各年の合計値が、表内の合計と異なる場合があります。

5. 量の見込みと確保方策（案）の算出

国の基本指針により、本計画に規定することが義務付けられている教育・保育および地域子ども・子育て支援事業は次のとおりとなります。

対象事業			対象児童年齢	確保方策要否
1	3号認定	保育の必要性があるもの（保育園、認定こども園、地域型保育）	0歳、1歳、2歳	○
2	2号認定	保育の必要性があるもの（保育園、認定こども園） 保育の必要性があり教育を希望するもの（幼稚園、認定こども園）	3～5歳	○
3	1号認定	幼稚園等で教育を希望するもの（幼稚園、認定こども園）	3～5歳	○
4	利用者支援事業		0～5歳	○
5	こども家庭センター		0～17歳	○
6	地域子育て相談機関		0～17歳	○
7	地域子育て支援拠点事業		0～17歳	○
8	延長保育事業		0～5歳	○
9	放課後児童健全育成事業		小学生	○
10	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）		0～17歳	○
11	一時預かり事業 ・幼稚園等における在園児を対象とした預かり ・その他		3～5歳 0～5歳	○
12	病児保育事業		0～5歳、小学生	○
13	ファミリー・サポート・センター事業		0～5歳、小学生	○
14	妊婦健康診査		0歳	○
15	乳児家庭全戸訪問事業		0歳	○
16	養育支援訪問事業		0～17歳	○
17	子育て世帯訪問支援事業		0～17歳	○
18	児童育成支援拠点事業		6～17歳	○
19	親子関係形成支援事業		0～17歳	○
20	実費徴収に伴う補足給付を行う事業		-	×
21	多様な事業者の参入促進・能力開発活用事業		-	×

(1) 教育・保育（市全域）

① 3号認定（保育の必要性があるもの）【0歳】

（単位：人）

【実施施設：認定こども園、保育所、地域型保育】	【第2期】					【第3期】				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み(補正前)	215	207	201	195	189	380	373	366	358	352
						↓補正①				
						312	306	300	294	289
						↓補正②				
【第2期】実利用者数／【第3期】量の見込み(補正後)・・・(A)	211	214	206	204	－	191	188	184	180	177
確保量・・・(B)	224	224	227	227	227	229	229	229	229	229
差(B－A)	13	10	21	23	－	38	41	45	49	52

■ 量の見込みの考え方

- ①育休取得者の保育ニーズは、育休明けの1歳になってから発生する可能性が高いことを勘案して、手引きに基づき算出した量の見込みから、調査票問31-6（母親）で、子どもが1歳になるまで育児休業を取得したい人の数を控除した数値を量の見込みとした。（補正①）
- ②なおも、過去の実利用者数と比較して乖離が見られるため、過去の実利用者数と人口減少率に応じた量の見込みを算出した。（補正②）

■ 確保方策の考え方

- ・既存の実施施設による確保を基本とする。

■ 確保量の考え方

- ・実施施設を対象とした利用定員意向調査から推計。（令和7年度～令和9年度。令和10年度以降は令和9年度と同数とした。）

【教育・保育提供区域別】

東部	実施時期				
	(令和7年度) 2025年度	(令和8年度) 2026年度	(令和9年度) 2027年度	(令和10年度) 2028年度	(令和11年度) 2029年度
【第3期】量の見込み… (A)	61	60	59	58	57
確保量… (B)	73	73	73	73	73
差 (B-A)	12	13	14	15	16

中部	実施時期				
	(令和7年度) 2025年度	(令和8年度) 2026年度	(令和9年度) 2027年度	(令和10年度) 2028年度	(令和11年度) 2029年度
【第3期】量の見込み… (A)	68	67	66	64	63
確保量… (B)	82	82	82	82	82
差 (B-A)	14	15	16	18	19

西部	実施時期				
	(令和7年度) 2025年度	(令和8年度) 2026年度	(令和9年度) 2027年度	(令和10年度) 2028年度	(令和11年度) 2029年度
【第3期】量の見込み… (A)	55	54	53	52	51
確保量… (B)	66	66	66	66	66
差 (B-A)	11	12	13	14	15

阿寒本町	実施時期				
	(令和7年度) 2025年度	(令和8年度) 2026年度	(令和9年度) 2027年度	(令和10年度) 2028年度	(令和11年度) 2029年度
【第3期】量の見込み… (A)	4	4	3	3	3
確保量… (B)	4	4	4	4	4
差 (B-A)	0	0	1	1	1

阿寒湖温泉	実施時期				
	(令和7年度) 2025年度	(令和8年度) 2026年度	(令和9年度) 2027年度	(令和10年度) 2028年度	(令和11年度) 2029年度
【第3期】量の見込み… (A)	1	1	1	1	1
確保量… (B)	2	2	2	2	2
差 (B-A)	1	1	1	1	1

音別	実施時期				
	(令和7年度) 2025年度	(令和8年度) 2026年度	(令和9年度) 2027年度	(令和10年度) 2028年度	(令和11年度) 2029年度
【第3期】量の見込み… (A)	2	2	2	2	2
確保量… (B)	2	2	2	2	2
差 (B-A)	0	0	0	0	0

②- 1 3号認定（保育の必要性があるもの）【1歳】

（単位：人）

【実施施設：認定こども園、保育園、地域型保育】	【第2期】					【第3期】				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み（補正前）	322	322	305	302	288	385	377	370	363	356
						↓補正後				
【第2期】実利用者数／【第3期】量の見込み（補正後）・・・(A)	313	333	332	318	－	330	323	317	311	305
確保量・・・(B)	273	289	282	296	294	316	316	316	316	316
差(B－A)	▲40	▲44	▲50	▲22	－	▲14	▲7	▲1	5	11

■ 量の見込みの考え方

- ・子どもが1歳になるまで育休を取得する予定の人も含まれていることから、手引きに基づき算出した量の見込みから、1歳の育休取得者のうち、調査票、問31-1（母親）の育児休業の実際の取得期間（予定を含む）が1歳以上である人を控除した数値を量の見込み（補正後）とする。

■ 確保方策の考え方

- ・既存の実施施設による確保を基本とする。
- ・既存の実施施設の定員の拡大により確保する。
- ・既存幼稚園の認定こども園への移行による定員の拡大により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・実施施設を対象とした利用定員意向調査から推計。（令和7年度～令和9年度。令和10年度以降は令和9年度と同数とした。）

【教育・保育提供区域別】

東部	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 年度)	(令和2 年1 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	106	103	102	100	98
確保量… (B)	101	101	101	101	101
差 (B-A)	-5	-2	-1	1	3

中部	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 年度)	(令和2 年1 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	118	116	113	111	109
確保量… (B)	113	113	113	113	113
差 (B-A)	-5	-3	0	2	4

西部	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 年度)	(令和2 年1 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	95	93	91	89	87
確保量… (B)	91	91	91	91	91
差 (B-A)	-4	-2	0	2	4

阿寒本町	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 年度)	(令和2 年1 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	6	6	6	6	6
確保量… (B)	6	6	6	6	6
差 (B-A)	0	0	0	0	0

阿寒湖温泉	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 年度)	(令和2 年1 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	2	2	2	2	2
確保量… (B)	2	2	2	2	2
差 (B-A)	0	0	0	0	0

音別	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 年度)	(令和2 年1 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	3	3	3	3	3
確保量… (B)	3	3	3	3	3
差 (B-A)	0	0	0	0	0

②-2 3号認定（保育の必要性があるもの）【2歳】

（単位：人）

【実施施設：認定こども園、保育園、地域型保育】	【第2期】					【第3期】				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み（補正前）	371	334	341	322	317	388	381	373	366	359
						↓補正後				
【第2期】実利用者数／【第3期】量の見込み（補正後）・・・(A)	360	345	359	339	－	379	372	364	358	351
確保量・・・(B)	315	299	315	316	323	368	369	369	369	369
差(B－A)	▲45	▲46	▲44	▲23	－	▲11	▲3	5	11	18

■ 量の見込みの考え方

- ・子どもが2歳になるまで育休を取得する予定の人も含まれていることから、手引きに基づき算出した量の見込みから、2歳の育休取得者のうち、調査票の問31-1（母親）の育児休業の実際の取得期間（予定を含む）が2歳以上である人を控除した数値を量の見込み（補正後）とする。

■ 確保方策の考え方

- ・既存の実施施設による確保を基本とする。
- ・既存の実施施設の定員の拡大により確保する。
- ・既存幼稚園の認定こども園への移行による定員の拡大により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・実施施設を対象とした利用定員意向調査から推計。（令和7年度～令和9年度。令和10年度以降は令和9年度と同数とした。）

【教育・保育提供区域別】

東部	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 8 年度)	(令和2 年1 2 9 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	121	119	116	114	112
確保量… (B)	118	118	118	118	118
差 (B-A)	-3	-1	2	4	6

中部	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 8 年度)	(令和2 年1 2 9 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	135	132	129	127	124
確保量… (B)	130	131	131	131	131
差 (B-A)	-5	-1	2	4	7

西部	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 8 年度)	(令和2 年1 2 9 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	109	107	105	103	101
確保量… (B)	106	106	106	106	106
差 (B-A)	-3	-1	1	3	5

阿寒本町	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 8 年度)	(令和2 年1 2 9 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	7	7	7	7	7
確保量… (B)	7	7	7	7	7
差 (B-A)	0	0	0	0	0

阿寒湖温泉	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 8 年度)	(令和2 年1 2 9 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	3	3	3	3	3
確保量… (B)	3	3	3	3	3
差 (B-A)	0	0	0	0	0

音別	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年0 8 年度)	(令和2 年1 2 9 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	4	4	4	4	4
確保量… (B)	4	4	4	4	4
差 (B-A)	0	0	0	0	0

③-1 2号認定（保育の必要性があるもの）【3～5歳】

（単位：人）

【実施施設：認定こども園、保育園】	【第2期】					【第3期】				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み(補正前)	1,136	1,107	1,037	984	935	1,299	1,257	1,216	1,178	1,141
						↓補正後				
【第2期】実利用者数／【第3期】量の見込み(補正後)・・・(A)	1,039	1,023	1,028	977	－	1,215	1,176	1,137	1,102	1,067
確保量・・・(B)	1,191	1,191	1,201	1,201	1,201	1,313	1,321	1,321	1,321	1,321
差(B－A)	152	168	173	224	－	98	145	184	219	254

■ 量の見込みの考え方

- ・幼稚園利用の意向が強い人も2号認定（保育の必要性の認定を受けた就学前子ども）に含まれていることから、手引きに基づき算出した量の見込みから、3～5歳の2号認定子どものうち、調査票問16-1で幼稚園（学校教育）の利用を強く希望する保育の必要性の認定を受けた就学前子どもを控除した数値を量の見込み（補正後）とする。

■ 確保方策の考え方

- ・既存の実施施設による確保を基本とする。

■ 確保量の考え方

- ・実施施設を対象とした利用定員意向調査から推計。（令和7年度～令和9年度。令和10年度以降は令和9年度と同数とした。）

【教育・保育提供区域別】

東部	実施時期					中部	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年10 年度)	(令和2 年11 年度)		(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年10 年度)	(令和2 年11 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	389	377	364	352	342	【第3期】量の見込み… (A)	433	420	406	393	381
確保量… (B)	421	423	423	423	423	確保量… (B)	469	472	472	472	472
差 (B-A)	32	46	59	71	81	差 (B-A)	36	52	66	79	91
西部	実施時期					阿寒本町	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年10 年度)	(令和2 年11 年度)		(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年10 年度)	(令和2 年11 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	349	338	327	317	306	【第3期】量の見込み… (A)	23	22	21	21	20
確保量… (B)	377	379	379	379	379	確保量… (B)	24	25	25	25	25
差 (B-A)	28	41	52	62	73	差 (B-A)	1	3	4	4	5
阿寒湖温泉	実施時期					音別	実施時期				
	(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年10 年度)	(令和2 年11 年度)		(令和2 年7 年度)	(令和2 年8 年度)	(令和2 年9 年度)	(令和2 年10 年度)	(令和2 年11 年度)
【第3期】量の見込み… (A)	9	8	8	8	8	【第3期】量の見込み… (A)	12	11	11	11	10
確保量… (B)	9	9	9	9	9	確保量… (B)	13	13	13	13	13
差 (B-A)	0	1	1	1	1	差 (B-A)	1	2	2	2	3

③-2 1号認定（幼稚園での教育を希望するもの）・2号認定（保育の必要性があり、教育の利用希望が強いもの）【3～5歳】

（単位：人）

【実施施設：認定こども園、幼稚園、保育園】		【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み (補正前)	1号認定	1,093	1,065	997	946	899	628	608	588	570	552
	2号認定(教育の利用希望が強い)	646	629	589	559	531	350	338	328	317	307
	合計	1,739	1,694	1,586	1,505	1,430	978	946	916	887	859
							↓補正①				
【第2期】実利用者数 ／【第3期】量の見込み (補正後)	1号認定	1,936	1,812	1,588	1,415	－	1,323	1,290	1,256	1,223	1,192
	2号認定(教育の利用希望が強い)	156	176	255	307	－	434	422	412	401	391
	合計・・・(A)	2,092	1,988	1,843	1,722	－	1,757	1,712	1,668	1,624	1,583
確保量	1号認定	1,360	1,360	1,255	1,255	1,255	1,549	1,526	1,526	1,526	1,526
	2号認定(教育の利用希望が強い)	1,057	1,057	1,082	1,082	1,082	401	409	409	409	409
	合計・・・(B)	2,417	2,417	2,337	2,337	2,337	1,950	1,935	1,935	1,935	1,935
差(B－A)		325	429	494	615	－	193	223	267	311	352

■ 量の見込みの考え方

- ・1号認定については、手引きに基づく量の見込みを算出。過去の実利用者数と大きな乖離が見られることから、過去の実績値に人口減少率に応じた「量の見込み」を算出する（補正後）
- ・2号認定（学校教育の利用希望が強い）については、手引きに基づく量の見込みから、③-1の集計において、3～5歳の2号認定子ども（保育の必要性の認定を受けた就学前子ども）のうち、学校教育の利用を強く希望する保育の必要性の認定を受けた就学前子どもを追加した数値を「量の見込み」とした。

■ 確保方策の考え方

- ・既存の認定こども園、幼稚園による確保を基本とする。

■ 確保量の考え方

- ・実施施設を対象とした利用定員意向調査により推計。（令和7年度～令和9年度。令和10年度以降は令和9年度と同数とした。）

【教育・保育提供区域別】

東部	実施時期				
	(令和7年度) 2025	(令和8年度) 2026	(令和9年度) 2027	(令和10年度) 2028	(令和11年度) 2029
【第3期】量の見込み…1号	424	413	402	392	381
【第3期】量の見込み…2号	139	135	132	128	125
合計 (A)	563	548	534	520	506
確保量…1号	496	489	489	489	489
確保量…2号	128	131	131	131	131
合計 (B)	624	620	620	620	620
差 (B-A)	61	72	86	100	114

中部	実施時期				
	(令和7年度) 2025	(令和8年度) 2026	(令和9年度) 2027	(令和10年度) 2028	(令和11年度) 2029
【第3期】量の見込み…1号	471	461	449	437	426
【第3期】量の見込み…2号	155	151	147	144	140
合計 (A)	626	612	596	581	566
確保量…1号	553	545	545	545	545
確保量…2号	143	146	146	146	146
合計 (B)	696	691	691	691	691
差 (B-A)	70	79	95	110	125

西部	実施時期				
	(令和7年度) 2025	(令和8年度) 2026	(令和9年度) 2027	(令和10年度) 2028	(令和11年度) 2029
【第3期】量の見込み…1号	380	371	361	352	342
【第3期】量の見込み…2号	125	121	118	115	112
合計 (A)	505	492	479	467	454
確保量…1号	445	438	438	438	438
確保量…2号	115	117	117	117	117
合計 (B)	560	555	555	555	555
差 (B-A)	55	63	76	88	101

阿寒本町	実施時期				
	(令和7年度) 2025	(令和8年度) 2026	(令和9年度) 2027	(令和10年度) 2028	(令和11年度) 2029
【第3期】量の見込み…1号	25	24	23	23	22
【第3期】量の見込み…2号	8	8	8	7	7
合計 (A)	33	32	31	30	29
確保量…1号	29	28	28	28	28
確保量…2号	7	8	8	8	8
合計 (B)	36	36	36	36	36
差 (B-A)	3	4	5	6	7

阿寒湖温泉	実施時期				
	(令和7年度) 2025	(令和8年度) 2026	(令和9年度) 2027	(令和10年度) 2028	(令和11年度) 2029
【第3期】量の見込み…1号	10	9	9	9	9
【第3期】量の見込み…2号	3	3	3	3	3
合計 (A)	13	12	12	12	12
確保量…1号	11	11	11	11	11
確保量…2号	3	3	3	3	3
合計 (B)	14	14	14	14	14
差 (B-A)	1	2	2	2	2

音別	実施時期				
	(令和7年度) 2025	(令和8年度) 2026	(令和9年度) 2027	(令和10年度) 2028	(令和11年度) 2029
【第3期】量の見込み…1号	13	12	12	12	12
【第3期】量の見込み…2号	4	4	4	4	4
合計 (A)	17	16	16	16	16
確保量…1号	15	15	15	15	15
確保量…2号	4	4	4	4	4
合計 (B)	19	19	19	19	19
差 (B-A)	2	3	3	3	3

地域子ども・子育て支援事業

① 利用者支援事業（基本型）

【対象年齢：0～5歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6 (見込み)	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み・・・(A)	箇所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
実施箇所数・・・(B)	箇所	3	3	3	3	3					
確保量・・・(C)	箇所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
【第2期】差(C－B) ／【第3期】差(C－A)	箇所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・市内で3箇所の整備により対応する。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

＜実施場所：釧路市子育て支援総合センター、中部子育て支援センター、西部子育て支援センター＞

- ・子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する。

② 【新規】 こども家庭センター

【対象年齢:0～17歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6 (見込み)	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み・・・(A)	箇所	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1
実施箇所数・・・(B)	箇所	-	-	-	-	-					
確保量・・・(C)	箇所	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1
【第2期】差(C-B)／【第3期】差(C-A)	箇所	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・市内で1箇所の整備により対応する。

■ 確保方策の考え方

- ・事業の新規実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

＜実施場所：釧路市こども支援課、健康推進課、釧路市子育て支援総合センター＞

- ・すべての妊産婦、子育て世帯、子どもを対象に継続的・包括的支援を行う相談機関を設置する。

(令和7年度内に「こども家庭センター」を開設)

＜こども家庭センターの機能＞

- ・妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談体制
- ・センター長、統括支援員の配置による体系的な支援体制
- ・サポートプランによる支援マネジメント
- ・地域資源の開拓

③【新規】地域子育て相談機関

【対象年齢:0～17歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み…(A)	箇所	-	-	-	-	-	3	3	3	3	3
実施箇所数…(B)	箇所	-	-	-	-	-					
確保量…(C)	箇所	-	-	-	-	-	3	3	3	3	3
【第2期】差(C-B) ／【第3期】差(C-A)	箇所	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・市内で3箇所の整備により対応する。

■ 確保方策の考え方

- ・事業の新規実施により確保する。

※中学校区ごとに1箇所ずつの設置が望ましい（釧路市だと15箇所の設置が必要）とされているが、まずは市内3箇所に設置し、子育て世帯からの相談件数や相談状況を鑑みて、設置箇所数を増やすことについて検討する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

＜実施場所：釧路市子育て支援総合センター、釧路市中部子育て支援センター、釧路市西部子育て支援センター＞

- ・「こども家庭センター」は、市役所に設置され、物理的・心理的距離により、妊産婦・子育て家庭からの相談のハードルが高いことが想定される。このため、従来より身近な交流・相談の場として実施してきた「子育て支援センター」を「地域子育て相談機関」として活用し、中核的な相談機関である「こども家庭センター」に適切に情報共有・連携することで、地域において重層的な相談体制を構築する。

④ 地域子育て支援拠点事業

【対象年齢:0～5歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み・・・(A)	延人／月	5,939	5,645	5,534	5,352	5,198	3,691	3,619	3,550	3,482	3,417
月間延べ利用者数・・・(B)	延人／月	2,035	2,169	2,204	2,479	－					
確保量・・・(C)	延人／月	5,939	5,645	5,534	5,352	5,198	3,691	3,619	3,550	3,482	3,417
【第2期】差(C－B)／【第3期】差(C－A)	延人／月	3,904	3,476	3,330	2,873	－	0	0	0	0	0
実施箇所	箇所	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6

■ 量の見込みの考え方

- ・手引きに基づき算出したとおりの量の見込みとする。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

- ＜実施場所：釧路市子育て支援総合センター、釧路市中部子育て支援センター、釧路市西部子育て支援センター、はるとり保育園子育て支援センター、釧路風の子認定こども園子育て支援センター、親子つどいの広場＞
- ・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。

⑤ 延長保育事業

【対象年齢:0～5歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み(補正前)	実人	1,201	1,156	1,106	1,059	1,017	243	237	230	224	219
							↓補正後				
【第2期】実利用者数(B)／【第3期】量の見込み(補正後)・・・(A)	実人	835	830	864	843	－	789	768	748	729	710
確保量・・・(B)	実人	1,823	1,823	1,823	1,823	1,823	789	768	748	729	710
差(B－A)	実人	988	993	959	980	－	0	0	0	0	0
実施箇所数	箇所	25	25	25	25	25	39	39	39	39	39

■ 量の見込みの考え方

・手引きに基づき算出した量の見込みと過去の実利用者数に乖離が見られるため、過去の実利用者数と人口減少率に応じた量の見込みを算出した。(補正後)

■ 確保方策の考え方

・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

・実施施設を対象とした利用定員意向調査により推計。(令和7年度～令和9年度。令和10年度以降は令和9年度と同数とした。)

■ 事業内容

＜実施場所：認定こども園、保育所、地域型保育＞

・保育認定を受けた子どもが通常利用時間を超えて、認定こども園、保育所等において保育を受ける。

【教育・保育提供区域別】

東部	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	252	246	240	234	227
確保量… (B)	252	246	240	234	227
差 (B-A)	0	0	0	0	0

中部	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	281	274	267	260	254
確保量… (B)	281	274	267	260	254
差 (B-A)	0	0	0	0	0

西部	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	227	221	215	209	204
確保量… (B)	227	221	215	209	204
差 (B-A)	0	0	0	0	0

阿寒本町	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	15	14	14	14	13
確保量… (B)	15	14	14	14	13
差 (B-A)	0	0	0	0	0

阿寒湖温泉	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	6	6	5	5	5
確保量… (B)	6	6	5	5	5
差 (B-A)	0	0	0	0	0

音別	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	8	7	7	7	7
確保量… (B)	8	7	7	7	7
差 (B-A)	0	0	0	0	0

⑥ 放課後児童健全育成事業

【対象年齢:小学生】		単位	【第2期】					【第3期】				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み	<低学年>	実人	807	767	741	728	709	536	507	479	452	427
	<高学年>	実人	322	311	305	292	277	322	307	293	279	266
	合計	実人	1,129	1,078	1,046	1,020	986	858	814	771	731	693
								↓補正後				
【第2期】実利用者数	<低学年>	実人	1,073	1,028	1,074	1,100	1,071	1,028	977	929	883	841
	<高学年>	実人	227	143	149	167	202	181	173	164	156	148
	合計・・・(A)	実人	1,300	1,171	1,223	1,267	1,273	1,209	1,150	1,093	1,039	989
確保量・・・(B)		実人	1,211	1,211	1,211	1,211	1,211	1,209	1,150	1,093	1,039	989
差(B-A)		実人	▲89	40	▲12	▲56	▲62	0	0	0	0	0
実施箇所		箇所	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23

■ 量の見込みの考え方

- ・手引きに基づき算出した量の見込みと過去の実利用者数に乖離が見られるため、過去の実績値から市内の全児童数の20%を乗じた値を「量の見込み」とした。(補正後)

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

<実施場所：児童センター、児童館>

- ・保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る。

【教育・保育提供区域別】

東部	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	387	368	350	333	317
確保量… (B)	387	368	350	333	317
差 (B-A)	0	0	0	0	0

中部	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	432	411	390	371	353
確保量… (B)	432	411	390	371	353
差 (B-A)	0	0	0	0	0

西部	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	347	331	314	299	284
確保量… (B)	347	331	314	299	284
差 (B-A)	0	0	0	0	0

阿寒本町	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	22	21	20	19	18
確保量… (B)	22	21	20	19	18
差 (B-A)	0	0	0	0	0

阿寒湖温泉	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	9	8	8	7	7
確保量… (B)	9	8	8	7	7
差 (B-A)	0	0	0	0	0

音別	実施時期				
	(令和7年度)	(令和8年度)	(令和9年度)	(令和10年度)	(令和11年度)
【第3期】量の見込み… (A)	12	11	11	10	10
確保量… (B)	12	11	11	10	10
差 (B-A)	0	0	0	0	0

⑦ 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

【対象年齢:0～17歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み／【第3期】量の見込み・・・(A)	延人／年 → 延日／年	87	83	80	76	73	411	401	390	380	370
年間延べ利用日数・・・(B)	人日	111	165	232	356	－					
確保量・・・(C)	延人／年 → 延日／年	90	90	90	90	90	411	401	390	380	370
【第2期】差(C－B)／【第3期】差(C－A)	延人／年 → 延日／年	▲21	▲75	▲142	▲266	－	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・単位について年間延べ利用者数から国の手引きどおりの単位である年間延べ利用日数に変更したため、量の見込みに乖離がある。
- ・手引きに基づき算出したとおりの量の見込みとする。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

<実施場所：釧路まりも学園>

- ・保護者の都合(病気や出張など)により、家庭で児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童を預かる事業。

⑧ 一時預かり事業（幼稚園型）

【対象年齢：3～5歳】		単位	【第2期】					【第3期】				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み	1号認定	延人／年	10,379	10,108	9,469	8,986	8,541	10,231	9,900	9,582	9,281	8,989
	2号認定	延人／年	164,234	159,945	149,837	142,195	135,145	88,744	85,876	83,119	80,509	77,972
	合計・・・(A)	延人／年	174,613	170,053	159,306	151,181	143,686	98,975	95,776	92,701	89,790	86,961
年間延べ利用者数・・・(B)		延人／年	80,679	71,643	75,870	76,229	－					
確保量・・・(C)		延人／年	387,400	387,400	387,400	387,400	387,400	98,975	95,776	92,701	89,790	89,691
【第2期】差(C－B)／【第3期】差(C－A)		延人／年	306,721	315,757	311,530	311,171		0	0	0	0	0
実施箇所数		箇所	33	34	36	36	－	33	33	33	33	33

■ 量の見込みの考え方

- ・手引きに基づき算出したとおりの量の見込みとする。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

<実施場所：幼稚園および認定こども園>

- ・幼稚園や認定こども園において、幼稚園の教育時間の前後の時間に、在園している児童を預かる事業。

⑨ 一時預かり事業（幼稚園型以外）

【一時預かり:0～5歳】 【ファミリー・サポート・センター※:0～5歳】 【トワイライトステイ:0～17歳】		単位	【第2期】					【第3期】				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み(補正前)		延人／年	9,684	9,209	9,007	8,698	8,437	28,632	27,924	27,239	26,582	25,944
								↓ 補正後				
【第2期】年間延べ利用者数 ／【第3期】量の見込み(補正後)	一時預かり	延人／年	870	1,179	1,004	1,983	－	5,338	5,196	5,059	4,929	4,801
	ファミリー・サポート・センター※	延人／年	834	966	781	733	－	686	668	650	634	617
	トワイライトステイ	延人／年	19	16	12	22	－	40	40	40	40	40
	合計・・・(A)	延人／年	1,723	2,161	1,797	2,738	－	6,064	5,904	5,749	5,603	5,458
確保量	一時預かり	延人／年	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	20,010	20,010	20,010	20,010	20,010
	ファミリー・サポート・センター※	延人／年	67,435	67,435	67,435	67,435	67,435	686	668	650	634	617
	トワイライトステイ	延人／年	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	合計・・・(B)	延人／年	98,975	98,975	98,975	98,975	98,975	20,736	20,718	20,700	20,684	20,667
差(B－A)		延人／年	97,252	96,814	97,178	96,237	－	14,672	14,814	14,951	15,081	15,209
実施箇所	一時預かり	箇所	7	7	8	8	8	23	23	23	23	23
	ファミリー・サポート・センター※	箇所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	トワイライトステイ	箇所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※就学時対象を除く。

■ 量の見込みの考え方

- ・手引きに基づき算出した量の見込みと過去の年間延べ利用者数に乖離が見られるため、以下の方法により量の見込みを算出
- ・【一時預かり】→ 利用者が増加傾向にあることと、一時預かり実施園の拡大（8園→23園）を予定していることを加味した量を算出した。
- ・【ファミリー・サポート・センター】→ 令和5年度の利用者数に人口減少率に応じて算出した量とした。
- ・【トワイライトステイ】→ 過去の利用者数を踏まえ、第2期計画と同数の量の見込みとした。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・【一時預かり】→ $23 \text{園} \times 1 \text{日} 3 \text{人} \times \text{開設日数} 290 \text{日} = 20,010 \text{人日}$
- ・【ファミリー・サポート・センター】→ 量の見込みと同数とした。
- ・【トワイライトステイ】→ 量の見込みと同数とした。

■ 事業内容

- ・【一時預かり】＜実施場所：保育所、認定こども園＞
 - 保護者の就労や、保護者の傷病など緊急的な事由、保護者が心身のリフレッシュ等の用事などで一時的に保育を必要とする児童を保育施設で預かる事業。
- ・【ファミリー・サポート・センター】＜実施場所：子育てサポートセンター・すくすく＞
 - 乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい方（依頼会員）と当該援助を行いたい方（提供会員）との相互援助を行う事業。
- ・【トワイライトステイ】＜実施場所：釧路まりも学園＞
 - 保護者の都合(帰宅が夜間に渡る場合や休日に不在となる場合)により、ご家庭で児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童を預かる事業。

⑩ 病児保育事業

【対象年齢:0～5歳、小学生】		単位	【第2期】					【第3期】				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み(補正前)		延人／年	8,422	8,111	7,760	7,430	7,135	14,658	14,268	13,892	13,533	13,184
								↓補正後				
【第2期】年間延べ利用者数 ／【第3期】量の見込み(補正後)	病児保育	延人／年	-	-	30	92	-	188	182	177	173	168
	病後児保育	延人／年	4	30	2	18	-	47	46	44	43	42
	合計・・・(A)	延人／年	4	30	32	110	-	235	228	221	216	210
確保量	病児保育	延人／年	-	-	-	-	-	1,740	1,740	1,740	1,740	1,740
	病後児保育	延人／年	900	900	900	8,400	8,400	870	870	870	870	870
	合計・・・(B)	延人／年	900	900	900	8,400	8,400	2,610	2,610	2,610	2,610	2,610
差(B-A)		延人／年	896	870	868	8,290	-	2,375	2,382	2,389	2,394	2,400
実施箇所	病児保育	箇所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	病後児保育	箇所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

■ 量の見込みの考え方

・手引きに基づき算出した量の見込みと過去の年間延べ利用者数に乖離が見られるため、以下の方法により量の見込みを算出。

【病児保育】 → 利用者が増加傾向にあること勘案して最大の利用者数を200とし、人口減少率に応じた量を算出した。

【病後児保育】 → 最大の利用者数を50人とし、人口減少率に応じた量を算出した。

■ 確保方策の考え方

・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

【病児保育】 → 1日6人×開設日数290日＝1,740人日

【病後児保育】 → 1日3人×開設日数290日＝870人日

■ 事業内容

【病児保育】＜実施場所：病児保育施設スクラム＞

- ・ 児童が病気の回復期に至らない場合であって、また当面の症状の急変が認められない場合、看護師や保育士のいる施設で、一時的に児童を預かる事業。

【病後児保育】＜実施場所：共栄保育園＞

- ・ 満1歳以上の児童が病気やケガの症状が落ち着き、登園できる状態まで回復しているが、体力などが回復していない場合、看護師や保育士のいる施設で、一時的に児童を預かる事業。

⑪ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業） ※就学児童対象

【対象年齢：小学生】		単位	【第2期】					【第3期】				
			R2	R3	R4	R5	R6 (見込み)	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み (補正前)	<低学年>	延人／年	5,053	4,802	4,643	4,561	4,441	5,137	4,856	4,587	4,334	4,095
	<高学年>	延人／年	1,920	1,853	1,818	1,738	1,652	0	0	0	0	0
	合計	延人／年	6,973	6,655	6,461	6,299	6,093	5,137	4,856	4,587	4,334	4,095
								↓補正後				
【第2期】年間延べ利用者 数 ／【第3期】量の見込み (補正後)	<低学年>	延人／年	434	503	406	381	－	358	340	324	308	293
	<高学年>	延人／年	208	241	195	183	－	172	163	156	148	141
	合計・・・(A)	延人／年	642	744	601	564	－	530	503	480	456	434
確保量	<低学年>	延人／年	35,090	35,090	35,090	35,090	35,090	358	340	324	308	293
	<高学年>	延人／年	16,830	16,830	16,830	16,830	16,830	172	163	156	148	141
	合計・・・(B)	延人／年	51,920	51,920	51,920	51,920	51,920	530	503	480	456	434
差(B－A)	<低学年>	延人／年	34,656	34,587	34,684	34,709	－	0	0	0	0	0
	<高学年>	延人／年	16,622	16,589	16,635	16,647	－	0	0	0	0	0
	合計	延人／年	51,278	51,176	51,319	51,356	－	0	0	0	0	0
実施箇所数		箇所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■ 量の見込みの考え方

- ・手引きに基づき算出した量の見込みと過去の年間延べ利用者数に乖離が見られるため、過去の実利用者数と人口減少率に応じた量の見込みを算出した。(補正後)

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数とした。

■ 事業内容

＜実施場所：子育てサポートセンター・すくすく＞

- ・乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、お子さんの預かりの援助を受けたい方（依頼会員）と当該援助を行いたい方（提供会員）との相互援助を行う事業。

⑫ 妊婦健康診査

	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み・・・(A)	延回／年	10,796	10,418	10,095	9,790	9,485	7,433	7,220	7,029	6,848	6,671
年間妊婦健診受診回数・・・(B)	延回／年	9,719	8,795	8,035	7,921	－					
確保量・・・(C)	延回／年	10,796	10,418	10,095	9,790	9,485	7,433	7,220	7,029	6,848	6,671
【第2期】差(C－B) ／【第3期】差(C－A)	延回／年	1,077	1,623	2,060	1,869	－	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・利用実績に基づき「量の見込み」を算出。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

- ・定期的な健診において、心身の健康状態の把握、身体計測、保健指導を実施するとともに、妊娠週数に応じた医学的検査を実施する。

⑬ 乳児家庭全戸訪問事業

【対象年齢:0歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み・・・(A)	実世帯	890	863	838	815	793	441	432	424	416	408
年間実施世帯数・・・(B)	実世帯	674	609	522	470	－					
確保量・・・(C)	実世帯	890	863	838	815	793	441	432	424	416	408
【第2期】差(C－B) ／【第3期】差(C－A)	実世帯	216	254	316	345	－	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・実績に基づき「量の見込み」を算出。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

- ・生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、乳児の発育、栄養、環境、疾病予防に留意した適切な指導を行う。また、母親の心身の状況や養育環境を把握し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭には、適切なサービスに結びつける。

⑭ 養育支援訪問事業

【対象年齢:0～5歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み・・・(A)	実世帯	466	466	466	466	466	286	274	264	253	243
年間実施世帯数・・・(B)	実世帯	351	319	342	363	－					
確保量・・・(C)	実世帯	466	466	466	466	466	286	274	264	253	243
【第2期】差(C－B) ／【第3期】差(C－A)	実世帯	115	147	124	103	－	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・利用実績に基づき「量の見込み」を算出。

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

- ・育児や家庭生活に支援が必要な世帯に対し、専門的見地による相談や助言などを行う。
(育児・家事援助等については新設される「子育て世帯訪問支援事業」に移行)

⑮ 【新規】子育て世帯訪問支援事業

【対象年齢:0～17歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み…(A)	実世帯	-	-	-	-	-	59	57	54	52	50
年間実施世帯数…(B)	実世帯	-	-	-	-	-					
確保量…(C)	実世帯	-	-	-	-	-	59	57	54	52	50
【第2期】差(C-B) ／【第3期】差(C-A)	実世帯	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0

■ 量の見込みの考え方

- ・国の算出方法に基づき、「要保護児童及び要支援児童等の数等を勘案して」対象となると考えられる世帯数に各年の人口減少率に応じた「量の見込み」を算出。
(利用が望ましい事業：児童相談所から引き継いだ児童がいる世帯、ネグレクト、保護者の育児疲れや育児不安、ヤングケアラー、特定妊婦など、支援を必要とすることが見込まれる世帯の数)

■ 確保方策の考え方

- ・今後も事業の継続実施により確保する。

■ 確保量の考え方

- ・量の見込みと同数を確保する。

■ 事業内容

- ・訪問し、子育てに関する情報の提供、家事・養育に関する援助等を行う。(訪問による生活の支援)
例) 調理、掃除等の家事、子育ての助言 等

⑩ 【新規】児童育成支援拠点事業

【対象年齢:6～17歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み・・・(A)	実人	-	-	-	-	-	85	81	78	74	71
年間実施世帯数・・・(B)	実人	-	-	-	-	-					
確保量・・・(C)	実人	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
【第2期】差(C-B) ／【第3期】差(C-A)	実人	-	-	-	-	-	▲85	▲81	▲78	▲74	▲71

■ 量の見込みの考え方

- ・国の算出方法に基づき、「要保護児童及び要支援児童等の数等を勘案して」対象となると考えられる児童数に各年の人口減少率に応じた「量の見込み」を算出。
(利用が望ましい事業：一時保護が解除され、児童相談所から市に指導委託や行政移管など引き継いだ児童や、虐待相談を受けた児童など、支援を必要とすることが見込まれる児童の数)

■ 確保方策の考え方

- ・事業の実施について、計画期間内に検討する。

■ 確保量の考え方

-

■ 事業内容

- ・児童の居場所となる拠点を開設し、児童に生活の場を与えるとともに児童や保護者への相談等を行う。(学校や家以外の子どもの居場所支援)
例) 居場所の提供、食事の提供、生活リズム・メンタルの調整、学習支援、関係機関との調整 等

⑪ 【新規】 親子関係形成支援事業

【対象年齢:0～17歳】	単位	【第2期】					【第3期】				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【第2期】量の見込み ／【第3期】量の見込み・・・(A)	実世帯	-	-	-	-	-	64	61	59	56	54
年間実施世帯数・・・(B)	実世帯	-	-	-	-	-					
確保量・・・(C)	実世帯	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
【第2期】差(C-B) ／【第3期】差(C-A)	実世帯	-	-	-	-	-	▲64	▲61	▲59	▲56	▲54

■ 量の見込みの考え方

- ・国の算出方法に基づき、「要保護児童及び要支援児童等の数等を勘案して」対象となると考えられる世帯数に各年の人口減少率に応じた「量の見込み」を算出。
(利用が望ましい事業：保護者の育児不安、育児しつけ相談、性格行動相談、児童相談所から引き継いだ児童がいる世帯など、支援を必要とすることが見込まれる世帯の数)

■ 確保方策の考え方

- ・事業の実施について、計画期間内に検討する。

■ 確保量の考え方

-

■ 事業内容

- ・親子間の適切な関係性の構築を目的とし、子どもの発達の状況等に応じた支援を行う。(親子関係の構築に向けた支援)
例) 講義・グループワーク・ロールプレイ等の手法で子どもとの関わり方等を学ぶ(ペアレントトレーニング) 等